

専門学校アリス学園加賀校

学 則

第1章 総 則

(目的)

第1条 本校は学校教育法に基づき、文化・教養専門課程では国際化時代に通用する語学力と実務知識、幅広い教養を身につけた人材を育てること、商業実務専門課程では、専門的なビジネススキルの習得を通じ、社会人としての総合的な能力と実務知識、幅広い教養を身につけた人材を育てることを目的とする。

(名称)

第2条 本校は専門学校アリス学園加賀校という。
英文名称は、「ALICE INTERNATIONAL COLLEGE KAGA CAMPUS」とする。

(位置)

第3条 本校の位置を石川県加賀市大聖寺八間道65番地に置く。

(自己点検・評価)

第4条 本校は、その教育のいっそうの充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、本校における教育活動等の状況について毎年度自ら点検及び評価を行うものとする。
2 前項の点検及び評価の実施に関し、必要な事項は別に定める。

第2章 課程及び学科、修業年限、定員並びに休業日

(課程、学科、修業年限、定員)

第5条 本校の課程、学科及び修業年限並びに定員は次のとおりとする。

課程名	学科名	修業年限	入学定員	学級数	総定員	昼夜の別
文化・教養専門課程	日本語学科	2年	30名	3	60名	昼
	日本語学科	1.5年	30名	3	60名	昼
商業実務専門課程	国際ビジネス学科	2年	30名	2	60名	昼
計			90名	8	180名	

2 前項の修業年限の2倍を超えて在学することはできない。

(学年、学期)

第6条 本校の学年は次のとおりとする。

- (1) 4月入学生は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。
- (2) 10月入学生は、10月1日に始まり翌年9月30日に終わる。ただし日本語学科1.5年課程2年次は、10月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

2 本校の学期は、次のとおりとする。

- (1) 4月入学生
 - 第1学期 4月1日から9月30日まで
 - 第2学期 10月1日から3月31日まで
- (2) 10月入学生
 - 第1学期 10月1日から3月31日まで
 - 第2学期 4月1日から9月30日まで

(休業日)

第7条 本校の休業日は次のとおりとする。ただし、学校長は、特に必要があると認める場合には、休業日を変更することができる。

- (1) 土曜日・日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律で規定する日
- (3) 夏季休業 7月20日～8月31日
- (4) 冬季休業 12月21日～1月7日
- (6) 春季休業 3月15日～4月10日
- (7) 開校記念日 10月1日

2 教育上必要があり、かつ、やむを得ない事情があるときは、前項の規定にかかわらず休業日に授業を行うことがある。

3 非常災害その他急迫の事情があるときは、臨時に授業を行わないことがある。

第3章 教育課程、授業時間及び教職員組織

(教育課程、単位数)

第8条 本校の教育課程及び単位数は、別表のとおりとする。教育課程は学修成果に基づき体系的に編成する。

(単位の計算方法)

第9条 本校専門課程の授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする教育内容をもって構成することとし、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の授業をもって1単位とする。
- (2) 実技及び実習については、30時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位とする。

(成績評価)

第10条 授業科目の評価は、学期末、学年末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の5分の4に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。

(他の専修学校等における授業科目の履修)

第11条 教育上有益と認めるときは、学生が入学前または在学中に他の専修学校、大学等において履修した授業科目について修得した単位を各課程の修了に必要な総単位数の2分の1を超えない範囲で本校において修得したものとみなすことができる。

(始業及び終業)

第12条 本校の始業及び終業の時刻は次のとおりとする。

課程名	学科名	昼夜別	始業時間	終業時間	曜日
文化・教養専門課程	日本語学科	昼	9時00分	16時10分	月～金
商業実務専門課程	国際ビジネス学科	昼	9時00分	16時10分	月～金

(教職員組織)

第13条 本校に次の教職員を置く。

- (1) 学校長
- (2) 教員
- (3) 事務職員

2 学校長は、校務をつかさどり、所属職員を監督する。

第4章 入学、休学、退学、卒業及び賞罰

(入学資格)

第14条 本校の入学資格は、次のとおりとする。

専門課程は、学校教育法第90条第1項の規定を満たしている、高等学校卒業またはこれと同等以上の学力を有する者とする。

(入学時期)

第15条 本校入学時期は、毎年4月または10月とする。

(入学手続)

第16条 本校の入学手続きは、次の通りとする。

- (1) 本校に入学しようとする者は、本校の定める入学願書、その他の書類に必要事項を記載し、第30条に定める入学検定料及び必要書類を添えて指定期日までに出席しなければならない。
- (2) 前項の手続きを終了した者に対して入学試験を行い、入学者を決定する。
- (3) 本校に入学を許可された者は、指定期日まで第30条に定める入学金・学費・諸経費等を納付し手続きをとらなければならない。

(入学取消)

第17条 学校長は、入学の許可を受けた者が前項の手続きをとらないときは、入学許可を取り消すことができる。

(保証人)

第18条 本校に入学しようとする者は、保証人を立てなければならない。

- 2 保証人は、保護者または独立の生計を営む縁故者で、確実に保証人としての責務を果し得る者でなければならない。
- 3 保証人として不相当と認められたときは、その変更を命ずることができる。
- 4 保証人は、保証する学生の在学中、その一身に関する事項について一切の責任を負わなければならない。
- 5 保証人がその責務を果たし得ない場合には、新たに保証人を選定して届け出なければならない。

(転入学、編入学、再入学)

第19条 学校長は、本校への転入学、編入学、再入学を志願する者については、欠員のある場合に限り、選考のうえ、相当年次に入学を許可することがある。

(転学科、転コース)

第20条 学校長は、本校の他の学科に転学科又は所属学科の他コースに転コースを志願する者については、欠員のある場合に限り、選考のうえ、相当年次に転学科又は転コースを許可することがある。

(休学、復学)

第21条 学生が疾病、その他やむを得ない事由により一時的に休学する場合は、その事由を記した休学願及び診断書等を提出し、学校長の許可を受けなければならない。

- 2 休学始期は4月1日もしくは10月1日とする。
- 3 休学期間は6ヶ月とする。

4 休学期間の提出締切日は次の通りとする。

休学期間	締切日
4月1日～9月30日	3月10日
10月1日～3月30日	9月10日

5 休学期間の延長を希望する者は、改めて休学願及び診断書等を提出し、学校長の許可を受けなければならない。前項の締切日までに休学願が提出されない場合は、復学するものとする。

6 休学期間は通算して2年を超えることはできない。

7 休学期間は在籍年数には算入しない。

(退学)

第22条 退学しようとする者は、その事由を記した退学願を提出し、学校長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第23条 学校長は、学生が次の各号のいずれかに該当する場合には、除籍することができる。

(1) 第5条に規定する在学期間を超えた者

(2) 休学期間2年を経て、なお復学の見込みのない者

(3) 授業料その他の納付金の納付を怠り、督促しても納付しない者

(4) 病気、その他の理由により、成業の見込みがないと認められる者

(5) 長期間にわたり行方不明の者

(課程修了の認定)

第24条 第10条に定める授業科目の成績評価に基づいて、学校長は課程修了の認定を行う。

2 単位制コースにおける課程の修了に必要な単位数は別表のとおりとする。

(卒業)

第25条 所定の修業年限以上在学し、学校長が課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。

(専門士の称号)

第26条 前条により、商業実務専門課程国際ビジネス学科を修了した者は、学校教育法第三十一条の二及び学校教育法施行規則第八十六条に基づき、特定専門課程を修了した者とする。

2 特定専門課程を修了した者は、専門士と称することができる。

第5章 科目等履修生

(科目等履修生)

第27条 本校において開設する授業科目に対し、本校以外の者から特定の科目について履修申請があった場合には、本校の授業に支障のない限り、選考の上科目履修生として当該科目の履修を許可することができる。

2 その他科目等履修生に関することは別に定める。

第6章 賞 罰

(褒賞)

第28条 成績優秀者にして、他の模範となる者は、褒賞することがある。

(懲戒)

第 29 条 次の各号に該当する者には、退学を命ずることがある。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者。
- (2) 学力劣等で成業の見込みが無いと認められる者。
- (3) 正当な理由がなくて出席が常でない者。
- (4) 学校の秩序を乱し、その他生徒としての本分に反した者。

第 7 章 入学検定料・入学金・授業料等

(納付金)

第 30 条 本校の入学金、授業料等、その他必要事項は学費規程に定める。

2 既に納入した納付金は、返還しない。ただし、入学手続きを終えた者が 3 月 31 日までに入学辞退を申し出た場合には、入学金を除く授業料等の納付金は返還するものとする。

第 8 章 学生寮

(学生寮)

第 31 条 学生寮に関する事項は、学校長が別に定める。

第 9 章 健康診断

(健康診断)

第 32 条 健康診断を毎年 1 回、別に定めるところにより実施する。

第 10 章 附帯教育事業

(附帯教育事業)

第 33 条 本校の附帯教育事業は次のとおりとする。

- (1) 介護福祉士初任者研修
- (2) 介護福祉士実務者研修
- (3) 介護福祉士初任者研修 通信講座
- (4) 介護福祉士実務者研修 通信講座
- (5) 介護予防講座
- (6) 喀痰吸引等研修

2 附帯教育事業の入学金、授業料、教育課程その他必要事項は別に定める。

第 11 章 雑 則

第 34 条 この学則の施行についての細則は、別に定める。

附則

- 1) この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2) この学則の改正は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。
- 3) この学則の改正は、令和 8 年 4 月 1 日より施行する。
- 2 この学則施行の前に在学している学生については、なお従前のおりとする。

別表1 国際ビジネス学科カリキュラム

必修/選択 必須	科目名	形態	単位数	時間数		
				1年	2年	計
必修	キャリアスタディ	講義	2	30		30
必修	ホテル概論Ⅰ	講義	2	30		30
必修	観光論Ⅰ	講義	2	30		30
必修	サービス接客研修Ⅰ	講義	2	30		30
必修	ビジネス文書作成	講義	2	30		30
必修	情報処理	講義	2	30		30
必修	異文化教育Ⅰ	講義	2	30		30
必修	社会人スキルⅠ	講義	2	30		30
必修	応用日本語Ⅰ	講義	2	30		30
必修	外国語検定対策Ⅰ	講義	4	60		60
必修	キャリアデザイン	講義	2	30		30
必修	サービス接客研修Ⅱ	講義	2	30		30
必修	情報資格対策	講義	2	30		30
必修	プレゼンテーション	講義	2	30		30
必修	異文化教育Ⅱ	講義	2	30		30
必修	社会人スキルⅡ	講義	2	30		30
必修	応用日本語Ⅱ	講義	2	30		30
必修	技能資格対策	講義	2	30		30
必修	外国語検定対策Ⅱ	講義	4	60		60
必修	リーダーシップ演習Ⅰ	演習	1	30		30
必修	サービス接客研修Ⅲ	講義	2		30	30
必修	ホテル概論Ⅱ	講義	2		30	30
必修	宿泊サービス	講義	2		30	30
必修	料飲サービス	講義	2		30	30
必修	キャリア支援Ⅰ	講義	2		30	30
必修	キャリア研究Ⅰ	講義	2		30	30
必修	観光論Ⅱ	講義	2		30	30
必修	異文化教育Ⅲ	講義	2		30	30
必修	サービス外国語Ⅰ	講義	2		30	30
必修	外国語検定対策Ⅲ	講義	4		60	60
必修	サービス接客研修Ⅳ	講義	2		30	30
必修	キャリア支援Ⅱ	講義	2		30	30
必修	キャリア研究Ⅱ	講義	2		30	30
必修	衛生管理	講義	2		30	30
必修	異文化教育Ⅳ	講義	2		30	30
必修	日本語教授法	講義	2		30	30
必修	外国語検定対策Ⅳ	講義	4		60	60
必修	リーダーシップ演習Ⅱ	演習	1		30	30
選択必修	インターンシップ	演習	4		160	160
選択必修	サービス外国語Ⅱ	講義	2		30	30
選択必修	試験対策	講義	2		30	30
選択必修	進学対策	講義	2		30	30
必修科目計			82	660	600	1260
選択必修科目計			10	0	250	250
開講単位数・時間数計			92	660	850	1510

卒業要件	必修	選択必修	合計
単位数	82	4	86
時間数	1260	160	1420

別表2-1 日本語学科2年制カリキュラム

科目名	形態	必修/選択	単位数	時間数		
				1年	2年	小計
基礎日本語	講義	必修	20	400		400
総合日本語	講義	必修	30	200	400	600
試験対策	講義	必修	30	200	400	600
合 計			80	800	800	1,600

別表2-2 日本語学科1.5年制カリキュラム

科目名	形態	必修/選択	単位数	時間数		
				1年	2年	小計
基礎日本語	講義	必修	20	400		400
総合日本語	講義	必修	20		400	400
試験対策	講義	必修	20		400	400
合 計			60	400	800	1,200

別表3 卒業所要単位数

1. 国際ビジネス学科

科目区分	最低修得単位数	備 考
必修科目	82	
選択必修科目	4	
合 計	86	

2. 日本語学科

(1) 2年制

科目区分	最低修得単位数	備 考
必修科目	80	
選択科目	0	
合 計	80	

(2) 1. 5年制

科目区分	最低修得単位数	備 考
必修科目	60	
選択科目	0	
合 計	60	